

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

令和3年2月1日公表

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	1	1	3	・学習スペースは確保されているが、遊ぶスペースがもう少し欲しい。 ・自由時間に過ごす場所がもう少し広いと思う。	庭が無い為、室内での療育が主となります。これまで定期的に近隣の公園へ出かけるなど広い場所で体を使う活動をしていましたが、コロナの影響で外出は控えています。学習スペースと遊ぶスペースが確保できるよう、室内のレイアウトを適宜変更しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19			2	・人数の把握をしていない。 ・利用日に先生が何人おられるかわからない。	職員の変更があった場合にはお便りにてお知らせしていましたが、今後は職員の人数やどのような職員が在籍しているかもお知らせするようにしていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1		8	・事業所に行ったときにバリアフリーになっていたと思います。 ・事業所にあまり行ったことがないのでよくわからない。	コロナ感染症予防の観点から、現在は保護者様をお招きしたり、室内に入って頂く機会を作り難しくなっておりますが、お便りや玄関への掲示物にて室内の環境が分かるよう工夫していきます。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	21				・出来なかったことが出来るようになった。 ・落ち着いて机に座っていることができるようになった。	保護者様のニーズを理解して児童の特性を客観的に分析することで適切な目標を定め、目標達成のために常に保護者様との連携を図り、職員間で話し合いを行い共通理解のもとで療育出来るようにしていきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	20			1	・コロナの為に特別なイベントなどはない。 ・粘土製作や夏祭りなどを行っていただいととても喜んでいました。	平日、学校休業日、長期休みで支援内容を変えることで固定化を防ぎ、コロナ感染症予防を視野に入れ、職員全員でミーティングを行い、季節に合ったプログラムで楽しみながら過ごせるような療育を行っていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	3	5	8	・コンパス以外で交流があった事は聞いたことがない。 ・コロナ禍の為、交流はしないで欲しい。	コロナ終息後は検討していきたい課題ですが、保護者様の中には交流を望まない方もおられ、アンケート調査などを行ってご意向に沿った対応を検討して参ります。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20			1	・契約時に詳しく説明をしてもらいました。 ・支援計画更新時に支援の内容を説明してもらっているので確認できています。	今後も引き続き、契約時や契約内容の変更があった場合には都度丁寧にご説明させて頂き、ご不明な点を残さない様に努めて参ります。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21				・送迎時などにその日の様子などを話してくれる。 ・責任者の先生が定期的子どもの状況などを話しに来ていただき相談に乗ってくれる。	送迎時等に担当者が定期的にかがいがい、保護者様へ現在の状況と今後の課題について共通理解を図っていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	2			・送迎の時などに月に2～3度責任者の先生が来てくれて相談をさせてもらったり、アドバイスを頂いたりしている。 ・特別に面談したことはない、送迎の時などに話をする。	現在は送迎時等に相談、助言を行う機会に止まっておりますが、コロナの終息後は家庭訪問等、検討したいと思います。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		6	8	7	・参加したことがないので良く分からない。 ・父母会や保護者会の話聞いたことがない。 ・他のお子さんの保護者と話す機会は特にない。 ・仕事、家事で忙しい方が多いと思うので保護者会等は不要 ・他の保護者と出会う機会があれば、参加したい・他の保護者の方とあまりお会いしたくありません。	保護者様のご意向を踏まえ、どのような方法が良いか話し合い、最も適切な方法で参観の機会を設けていきたいところですが、コロナが終息するまで保護者様が集まる機会を控えて頂いています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	1		4	・苦情などの話は聞いたことがないので、そもそも苦情が入っているのか分からない。 ・時々連絡ミスがあったりすることがある。 ・基本的にトラブルがあっても他の利用者に話すことはないのだと思う。 ・学校等で同じ利用している保護者の方とお会いするが、苦情みたいな話を聞いたことがない。	保護者様からご指摘されるお気づきの点や不安な点などを頂くことにより、サービスの質の向上へと繋げたいと考えております。何かございましたら遠慮なくご相談ください。保護者様から受けたご相談は個人情報保護の原則から公表することはありませんので、ご理解頂きますようお願い申し上げます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	2			・子どもの様子をいつも詳しく教えてくれるので、家でも対応しやすく感謝している。 ・送迎してくれる先生がいつもその日の様子を話してくれるので安心してます。 ・月に1～2度責任者の先生が送迎時に療育の様子や、家庭の様子等を聞いてくれて相談に乗ってくれるのでとても安心して任せられる。	保護者様からの連絡が取りやすいよう担当者直通の連絡先お知らせしています。また、送迎時等に近況をお伝えし、利用状況やご家庭の様子、及び学校での出来事などを共有することが出来るようにしています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	1			・会報が定期的に届くので行事の予定などが分かる。 ・変更時や行事等はメールや文章で確実にに連絡が入るので助かる。 ・送迎時にお話をしてくれるのでよくわかる。	定期的にコンパス便りをお届けしていますが、ホームページやブログのご案内をしていくことで情報を発信しています。
14 個人情報に十分注意しているか	20	1			・迎えに行った際に、サインする票を伏せてあるなど、配慮が感じられる。 ・実績票の中身が見えないように、ノート型のバインダーを使うなど細かい配慮が感じられる。	引き続き職員全員に個人情報保護についての注意を促し、意識して支援していくよう努めます。	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18			3	・契約時に避難場所について説明を受けた。 ・救急カードを作ったり、避難訓練、感染対策等の連絡をもらっている。 ・送迎時等に職員の方が説明してくれる。	起こりうる事例について職員同士で話し合い、適宜マニュアルの見直しを行っていきます。緊急時、保護者様への連絡がスムーズに行えるよう利用児童全員の救急カードを作り、対応できるようにしていきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14			7	・子どもが帰ってきたときに紙芝居をしたなど教えてくれる。 ・年に2回避難訓練の連絡がある。 ・訓練の具体的な内容はよく分からない。	年2回の防災訓練（火災・地震・風水害・不審者）を引き続き定期的実施していきます。今後は事前に「お便り」などでお知らせし、訓練内容をお伝えしていきます。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18	2		1	・とても楽しいようで満足している。 ・学校がお休みでもコンパスには行きたいと言っている。 ・コンパスから帰ってくると、今度はいつ行くのと言ってすごく楽しみにしている。 ・勉強するのは嫌みだけけど、コンパスの先生が大好きなようで、毎回楽しみにしている。 ・毎日笑顔で帰ってきて、どんな事をしたなど良く教えてくれ、楽しいとよく言っている。	学習だけでなく、遊びを通してお友達との関わりを持ち、楽しみながら過ごせるよう工夫していきます。今後も支援計画をもとに児童の様子をみながら成長のサポートをしていきます。学習時間には得意なことを伸ばし、苦手な事でも楽しく取り組むことが出来るよう工夫しながら支援していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	19	2			・子どもの事をよく理解していただいているので、安心してお任せできています。 ・今日何をしたのかわからないので連絡ノートなどで知らせたい。 ・いつもしっかり子どもの事を見て頂き感謝している。 ・学校とも連携を取っていただいているのでとても感謝しています。 ・コンパスでの療育だけでなく学校に担任の先生とも話をして頂いているので、とても助かっています。	児童の特性を理解して出来ることを増やしていけるよう、職員一丸となって支援して参ります。連絡帳を用いて保護者様へ分かりやすく情報発信・共有できるよう心掛けて参ります。日々ミーティングを行い、楽しんで通所できる環境作りを職員全員で工夫していきます。児童の支援だけに留まらず、保護者様のご相談やご意見にも積極的に関わっていきたく思います。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。